

2006
4/12

会報

1. 第3回異業種交流会案内
2. NPO研究会の活動報告
3. お知らせ

NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワークホームページ
<http://www.doshisha-net.org/>

発行 NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク（同志社大学リエゾンオフィス内）

□ 京田辺 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 TEL:0774-65-6223 FAX:0774-65-6773

□ 今出川 〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103 TEL:075-251-3147 FAX:075-251-3046

1. 第3回異業種交流会 同志社コラボネットのご案内 ～NPO&同志社校友会大阪支部・産官学部会～

今回は、同志社校友会大阪支部・産官学部会とのジョイントでの開催になります。また、初めての大阪開催でもありますので、ぜひ皆さまご参加くださいませ。

【日時】 2006年5月13日（土） 14:00～19:00

【場所】 <第1部>エル・おおさか 南館7階708会議室
 （京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」から西へ300m）

<第2部>「うまいもの処くねんぼ」
 大阪府中央区大手前1-5-4 大手前ハイツ1階



受付開始 13:30～

<第1部> 14:00～16:40

1. 基調講演（14:05～15:05）

テーマ：「私の企業経営哲学」

小嶋 淳司 氏 がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長、関西経済同友会次期代表幹事

2. パネルディスカッション（15:20～16:40）

テーマ：『企業が果たす社会的責任とは』

パネリスト

- ・ 中居 成子 氏 ㈱ハート・アンド・キャリア 代表取締役
- ・ 岩淵 貴史 氏 監査法人トーマツ（公認会計士）
- ・ 加地 伸行 氏 同志社大学ヒューマンセキュリティ研究センター 専任フェロー（教授）
- ・ 駒宮 敦史 氏 三洋電機株式会社事業開発本部副本部長（LCC副委員長）

コーディネーター

- ・ 五島 洋 氏 飛翔法律事務所（弁護士）

【会費】 <第1部> 2,000円（ただし、NPO会員・校友会大阪支部会員・学生は無料）

<第2部> NPO会員・校友会大阪支部会員 2,000円
 会員以外の方（社会人）3,000円（学生）1,000円

【申込方法】 事前申し込み制（恐れ入りますが4月28日までにFAX、E-mailで下記までお申し込みください）

【お申し込み・お問い合わせ先】

NPO 法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク事務局

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3

TEL:0774-65-6223 FAX:0774-65-6773 E-mail:staff@doshisha-net.org

2. NPO研究会の活動報告

◇地域ビジネスの活性化のための研究会（京田辺市地域）

同志社大学京田辺キャンパスのある京田辺市は現在三山木地域の再開発を進行中。市は地域を活性化させるために、近鉄とJRの駅を高架にして、その間に公共的なスペース（駅前広場）を設けて、新しい街づくりの目玉にする予定のようである。また、三山木駅周辺は関西学術研究都市の北の玄関口であり、また同志社大学にも非常に近接した地域である。現在、地域のハード面の充実を図るとともに、“大学のある街”としての特徴を活かしたプラン作りを行っている。当研究会では、京田辺、地域住民や学生からのヒアリングなどを行い、NPOの3つの研究会が総力を決して、京田辺市に対して協力できることや地域住民の街づくりの機運を高める方策を、情報交換を通じて検討を行っている。

◇企業あるいは第三セクターの再生に関する研究会

1月28日の「地域リソース再起動シンポジウム」は100人を超える聴衆が参加して、熱心な討議が行われた。シンポジウムと併せて設置された企業・自治体のブースにも多数の来場者があった。シンポジウムは成功といえる。その他に、現在は近畿日本鉄道株式会社に対して伊勢志摩の開発に協力できないかという企画提案を行っている。近鉄は同地域の再開発に対して積極的な取り組みを行っており、志摩観光ホテル（三重県志摩市）のリニューアルやスポーツジムやエステの施設、また女子プロゴルフツアーなどのスポーツイベントの開催などを企画している。それに対して、当NPOからも専門的な見地とNPOならではの業種を超えたユニークな企画の提案を行っており、近鉄側で検討してもらっているところである。こうした提案の中には、医療・健康産業の操業に関する研究会との横断的内容のものもある。また、地域ビジネスの活性化のための研究会が手掛ける三山木地区の開発にも協力していることは同研究会の説明で記載のとおりであり、研究会横断的取り組みへの積極姿勢が出てきている。

◇医療・健康産業の創業に関する研究会

経済産業省平成18年度「サービス産業創出支援事業」の申請に向けて準備中。今回の申請の中心的な役割は、有限会社バイオメディカル総合研究所の千葉敏行氏が担っており、研究者には同志社大学の米井嘉一氏（アンチエイジングリサーチセンター教授）、安川文朗同志社大学客員フェローなどが参画している。「サービス産業創出支援事業」は経済産業省には珍しく技術分野の研究ではなく“健康サービス”というソフト的な事業に対する支援プログラムであり、また1件あたりの採択額も1～2億円程度ということで規模も大きいのが特徴である。そのため、全国から多くの申請があるため、高倍率である。

申請書提出期限が4月19日であり、現在申請書の作成に向けて大詰めの段階である。

4. お知らせ

・現在、NPOの新しい活動として「NPOリエゾンセミナー」の企画を行っています。

5月～7月の2週間に一度程度、今気になるトピックスなどをテーマにしたセミナーを開催する予定です。これを機会に、幅広く感心や知識を持っていただく機会にしたいと考えています。内容が決定次第、メールマガジンなどでお知らせしたいと思います。